

5. - 1 5) 検定結果 烏骨鶏交雑

UK×YA (烏骨鶏×RIR) コマーシャル卵用及び卵肉兼用タイプ (CM♀) 28年度

(1) 体重 (表3、図1参照)

体重は、4週齢・8週齢を10%抽出(10羽)、12週齢を全羽数、40週齢・64週齢を60%抽出(60羽)として測定した。

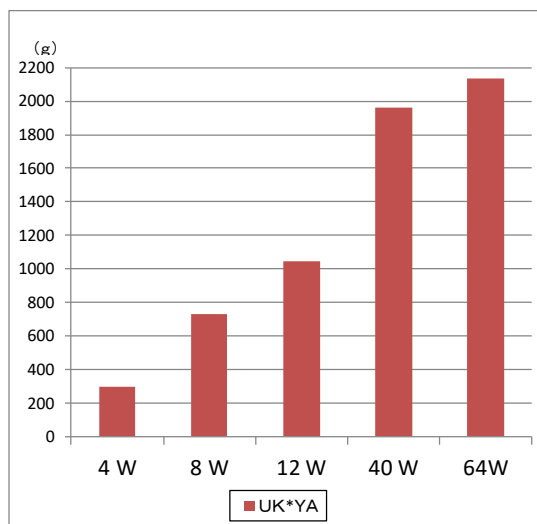
育成期間の4週齢(28日齢)から12週齢(84日齢)は、12週齢時に若干体重が重い傾向があり、成鶏期の40週齢では1.96 kgとなり、検定終了時の64週齢では2.47 kgとなった。

	4週齢	8週齢	12週齢	40週齢	64週齢
	28日齢	56日齢	84日齢	280日齢	448日齢
平均体重	300	729	1,044	1,961	2,136
最大	334	764	1,241	2,328	2,554
最小	264	680	882	1,639	1,805
標準偏差	24.0	26.9	65.9	160.0	198.2
変動係数	7.99	3.69	6.31	8.16	9.28
数	10	10	100	60	60

※ 上記の表3における12週齢の全数測定において、発育不良等により極端に低い体重のものは、異常値として集計から除外した。

(参考) 烏骨鶏純粋種の平均体重

40週齢時：1,383 g (27年鶏：岡崎牧場系)



(表3・図1) 平均体重の推移

(2) 羽色・外貌特徴

ア 0 週齢時（羽色のみ(20%抽出)）（図 2 参照）

「UK×YA」は、全て（20羽中20羽）が羽色タイプ I（褐色斑）であった。



(図 2) <UK×YA>の羽色

イ 12 週齢時（羽色・外貌特徴）（図 3 参照）

「UK×YA」は、全て（100%（100羽中100羽））が羽色タイプ I（濃褐色）であった。外貌の特徴は、何れも体型が卵用種型（地鶏型）、冠は胡桃冠・バラ冠（ごく一部単冠）が見られ、毛冠があり、耳朶色は濃藍色、脚色は薄い鉛色（一部鉛色）、脚毛があり（一部脚毛なし）、趾は多趾（一部多趾でない）であった。

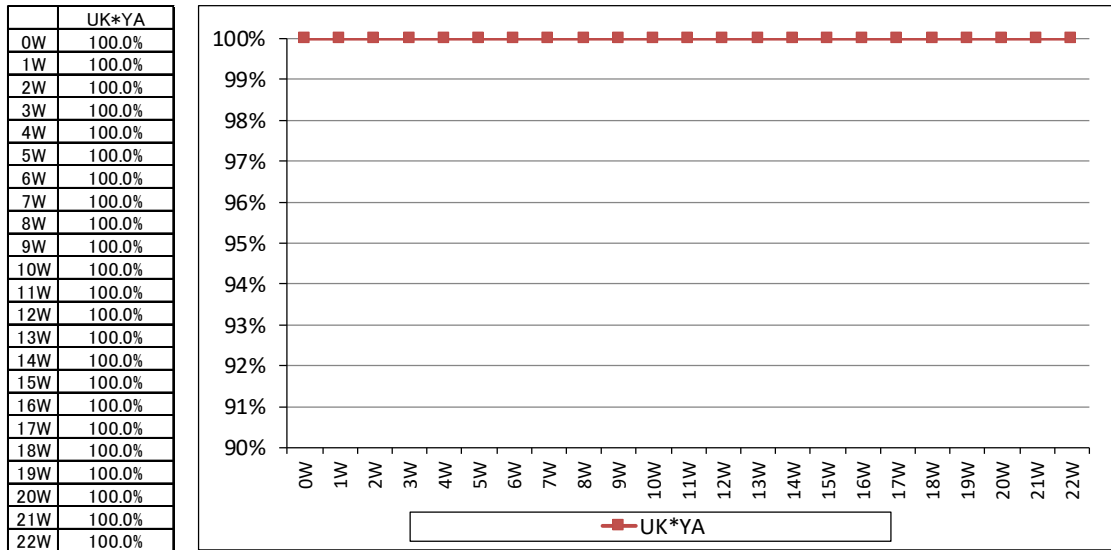


(図 3) <UK×YA> 羽色タイプ I の羽色・外貌の特徴

(3) 育成率・生存率

ア 育成率 (表4・図4参照)

期間中の斃死・淘汰はなく、育成率は100%であった。

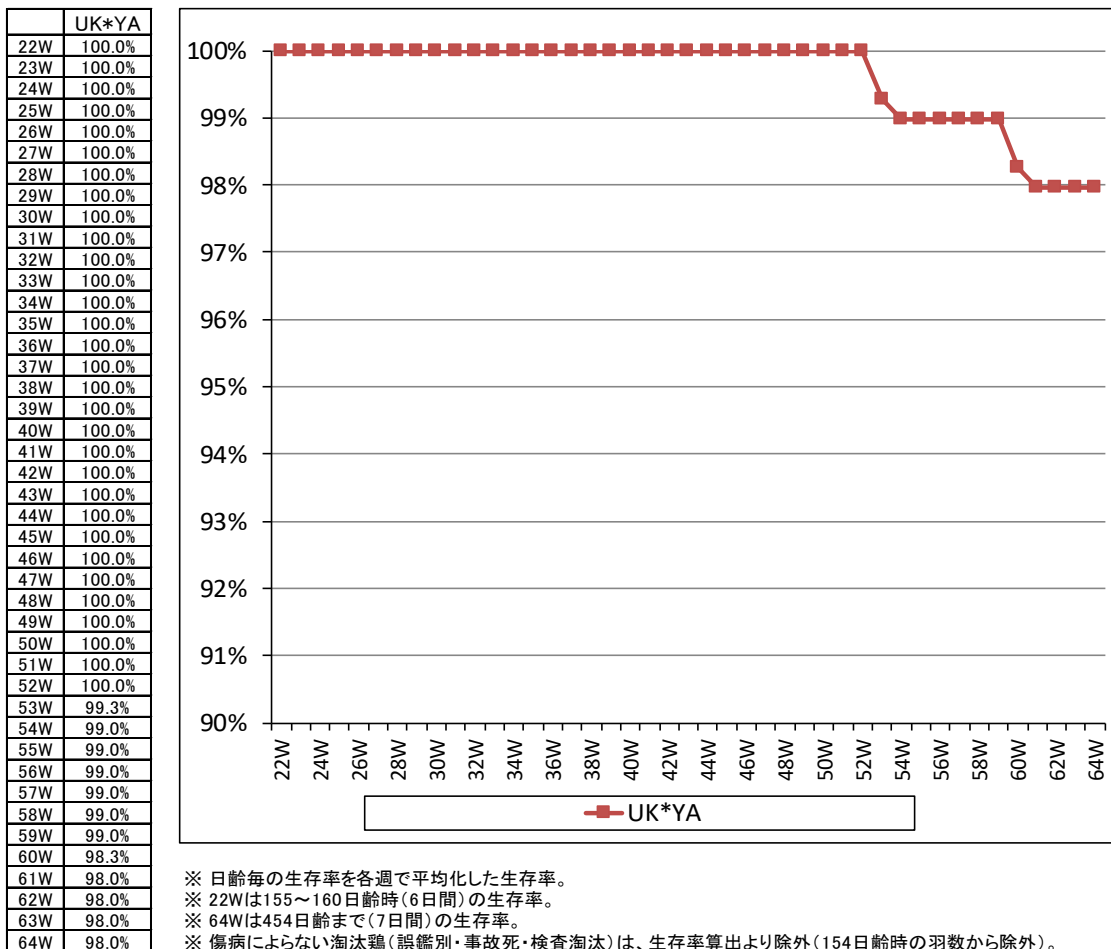


※ 日齢毎の育成率を各週で平均化した育成率。
 ※ 22Wは154日齢時(1日間)の育成率。
 ※ 傷病によらない淘汰鶏(誤鑑別・事故死・検査淘汰等)は、育成率算出より除外(え付羽数から除外)。

(表4・図4) 育成率の推移

イ 生存率 (表5・図5参照)

53週齢から60週齢にかけて消化器病により斃死し、生存率は98.0%であった。



※ 日齢毎の生存率を各週で平均化した生存率。
 ※ 22Wは155~160日齢時(6日間)の生存率。
 ※ 64Wは454日齢まで(7日間)の生存率。
 ※ 傷病によらない淘汰鶏(誤鑑別・事故死・検査淘汰)は、生存率算出より除外(154日齢時の羽数から除外)。

(表5・図5) 生存率の推移

(4) へい死・淘汰要因 (表 6 参照)

消化器病(肝内出血)、腫瘍が発生したものの、特に目立った症状はなく、へい死・淘汰率は 2.0% となった。

(表 6) へい死・淘汰率 (日齢/羽数)

区 分	UK×YA	
肝内出血	1.0%	(422/1羽)
腫瘍(消化器)	1.0%	(373/1羽)
計	2.0%	(2羽)

※ 64W(454日齢:H28/7/2)までのデータとした。

※ へい死・淘汰率は、え付羽数から検査淘汰などを除いたものを補正え付羽数とし、その羽数に対する率とした。

(5) 産卵性能

ア 各性能 (表 7 参照)

50%産卵日齢は、148 日齢。

ピーク産卵率は、97.0%。

168～454 日齢の期間産卵率は、83.9%。

(表 7) 各性能

区 分	50% 産卵日齢	ピーク 産卵率	期間 産卵率
	148 日齢	97.0%	83.9%
UK×YA	[147日齢：49.0%] [148日齢：54.0%] [149日齢：57.0%]	[203日齢：97.0%] [204日齢：97.0%] [205日齢：97.0%] [平均 97.0%]	期間産卵個数：23,700個 期間延べ羽数：28,261羽 期間産卵率：83.9%

※ 「50%産卵日齢」は、産卵率が 50%に達した最初の日齢

※ 「ピーク産卵率」は、産卵ピーク時 3 日間の平均産卵率

※ 「期間産卵率」は、168～454 日齢の期間産卵個数/期間延べ羽数

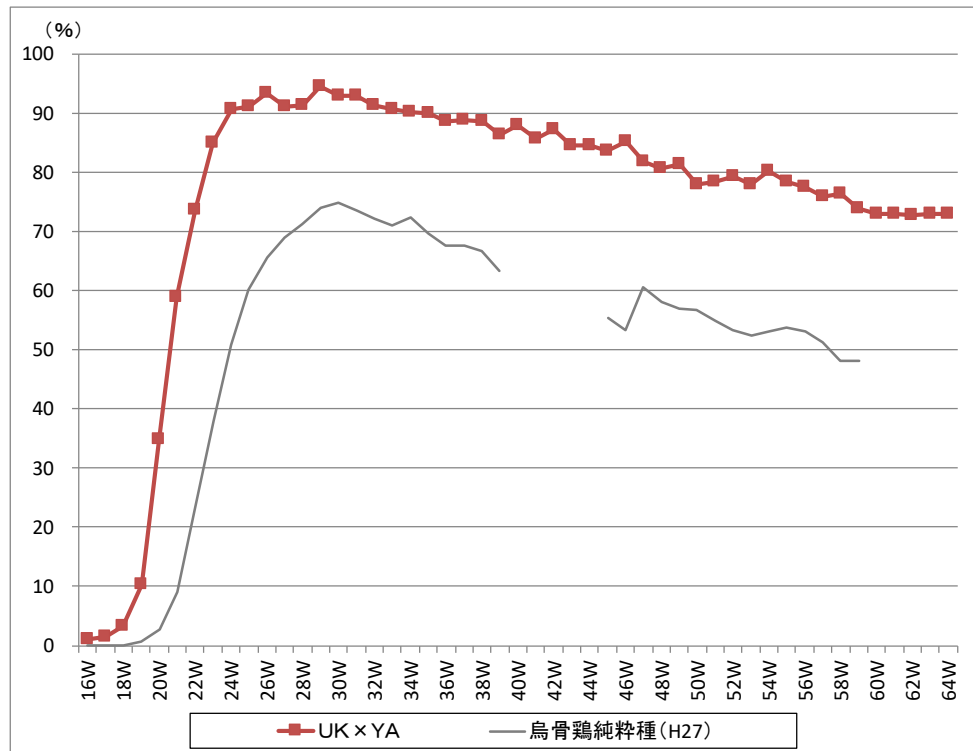
(表 8) (参考) 純粋種の各性能 (27 年鶏：岡崎牧場系)

区 分	50% 産卵日齢	ピーク 産卵率	期間 産卵率
烏骨鶏 純粋種	171 日齢	76.0%	59.0%

イ 週齢毎産卵率（表9・図6参照）

16週齢より産卵を開始し、19週齢より一気に上昇し、29週齢で産卵ピークを迎えた。その後、大きな低下もなく、35～49週齢にかけて80%以上を維持し、検定終了時の64週齢では72.9%となった。

	UK×YA	純	
7/25～	16W	1.0%	0.0%
8/1～	17W	1.4%	0.0%
8/8～	18W	3.3%	0.0%
8/15～	19W	10.3%	0.6%
8/22～	20W	34.9%	2.7%
8/29～	21W	58.9%	9.2%
9/5～	22W	73.7%	22.9%
9/12～	23W	84.9%	37.9%
9/19～	24W	90.6%	50.8%
9/26～	25W	91.0%	60.1%
10/3～	26W	93.3%	65.6%
10/10～	27W	91.1%	69.0%
10/17～	28W	91.3%	71.1%
10/24～	29W	94.4%	74.0%
10/31～	30W	93.0%	74.8%
11/7～	31W	93.0%	73.6%
11/14～	32W	91.3%	72.2%
11/21～	33W	90.7%	71.1%
11/28～	34W	90.3%	72.4%
12/5～	35W	90.0%	69.7%
12/12～	36W	88.6%	67.7%
12/19～	37W	88.9%	67.7%
12/26～	38W	88.6%	66.6%
1/2～	39W	86.4%	63.2%
1/9～	40W	88.0%	
1/16～	41W	85.5%	
1/23～	42W	87.3%	
1/30～	43W	84.4%	
2/6～	44W	84.5%	
2/13～	45W	83.7%	55.3%
2/20～	46W	85.3%	53.3%
2/27～	47W	81.8%	60.6%
3/6～	48W	80.8%	58.0%
3/13～	49W	81.3%	56.9%
3/20～	50W	77.8%	56.8%
3/27～	51W	78.3%	54.9%
4/3～	52W	79.3%	53.2%
4/10～	53W	77.9%	52.5%
4/17～	54W	80.1%	53.2%
4/24～	55W	78.4%	53.7%
5/1～	56W	77.5%	53.0%
5/8～	57W	76.0%	51.2%
5/15～	58W	76.4%	48.1%
5/22～	59W	73.8%	48.2%
5/29～	60W	73.0%	
6/5～	61W	72.9%	
6/12～	62W	72.8%	
6/19～	63W	72.9%	
6/26～	64W	72.9%	



※ 日齢毎の産卵率を各週齢で平均化した産卵率

(表9、図6) 週齢毎産卵率の推移

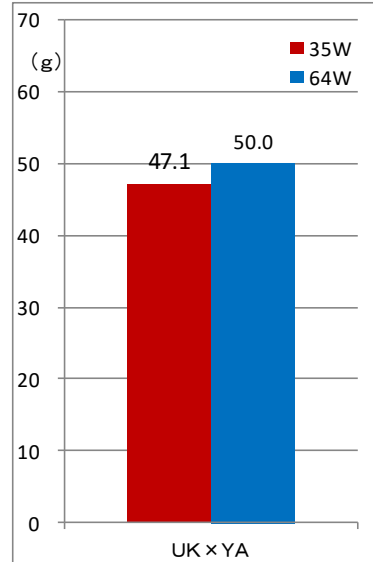
(6) 卵質性能

卵質性能は、35 週齢・64 週齢時の卵質検査において 60%抽出(60 個)として測定した。

ア 卵重 (表 10～12・図 7～9 参照)

烏骨鶏交雑の卵重は、35 週齢では 47.1 g となり、検定終了時の 64 週齢では 50.0 g となった。

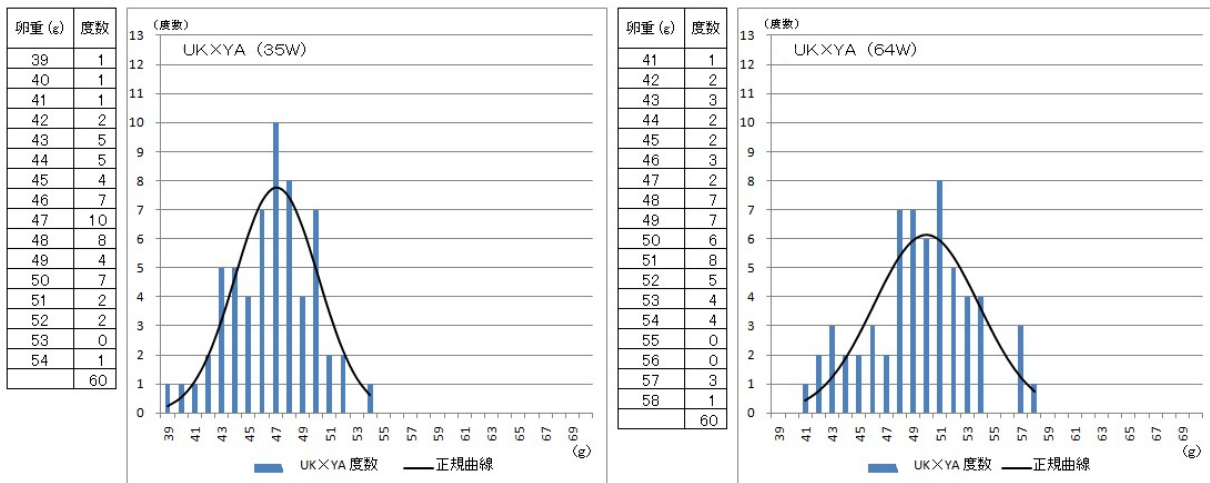
区 分 (g)	UK*YA	
	35週齢	64週齢
平 均	47.1	50.0
最 大	54.4	58.1
最 小	39.6	41.2
標準偏差	3.1	3.9
数 (個)	60	60



(参考) 烏骨鶏純粋種の卵重
35週齢時: 38.3g (H27年鶏: 岡崎牧場系)

(表 10・図 7) 卵重の状況

これら全ての測定値からそれぞれ度数分布、正規曲線を求めた結果、表 11～12、図 8～9 のような分布となった。

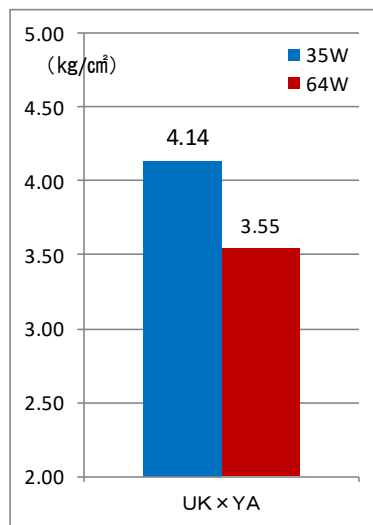


(表 11・12、図 8・9) 卵重の度数分布・正規曲線

イ 卵殻強度（表 13～15、図 10～12 参照）

卵殻強度は、35 週齢で 4.14 kg/cm²、検定終了時の 64 週齢 3.55 kg/cm²となった。

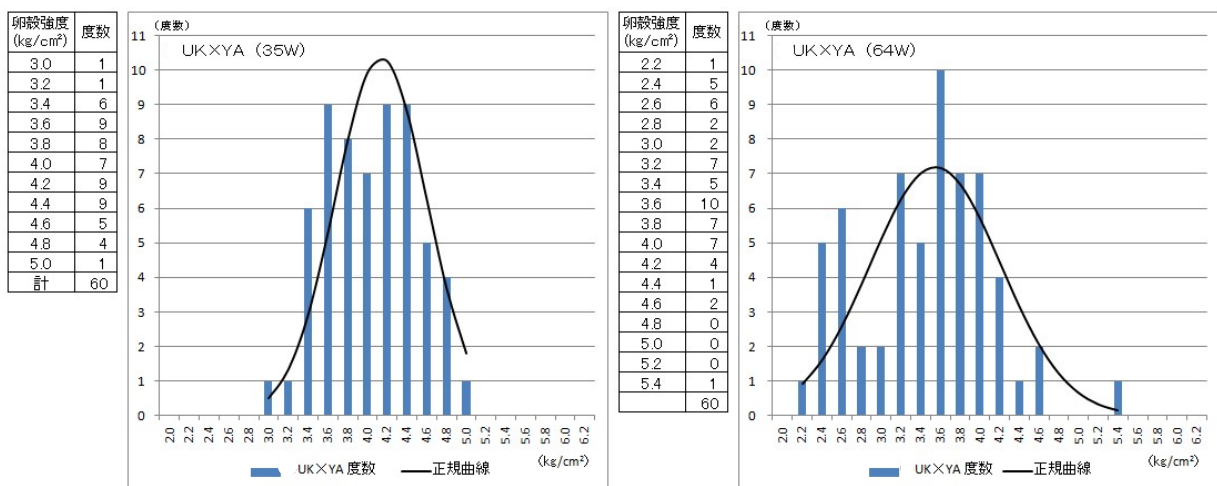
区 分 (kg/cm ²)	UK*YA	
	35週齢	64週齢
平 均	4.14	3.55
最 大	5.12	5.44
最 小	3.08	2.33
標準偏差	0.46	0.66
数 (個)	60	60



(参考) 烏骨鶏純粋種の卵殻強度
35週齢時: 3.86kg/cm²(H27年鶏・岡崎牧場系)

(表 13・図 10) 卵殻強度の状況

これら全ての測定値からそれぞれ度数分布、正規曲線を求めた結果、表 14～15、図 11～12 のような分布となった。



(表 14・15、図 11・12) 卵殻強度の度数分布・正規曲線

ウ 卵殻色（表 16～18、図 13～14 参照）

a 卵殻色「L 値」（※ 明るい + ← 0）

色の明るさを示す L 値（数値が低いほど卵殻色が濃い）については、♀系のロードアイランドレッドの影響を受け、卵殻色が濃褐色のため、64～66 程度の暗い数値であった。

b 卵殻色「a 値」（※ 赤 + ← 0 → - 緑）

色の赤・緑を示す a 値（プラス数値が高いほど赤みが強く、マイナス数値が高いほど緑みが強い）は、父系の烏骨鶏（特徴：淡褐色卵）の影響を受け、赤色を示すプラス数値となり、♀系のロードアイランドレッドの影響により褐色が濃く 13～15 程度であった。また、加齢とともに赤みが薄くなる傾向であった。

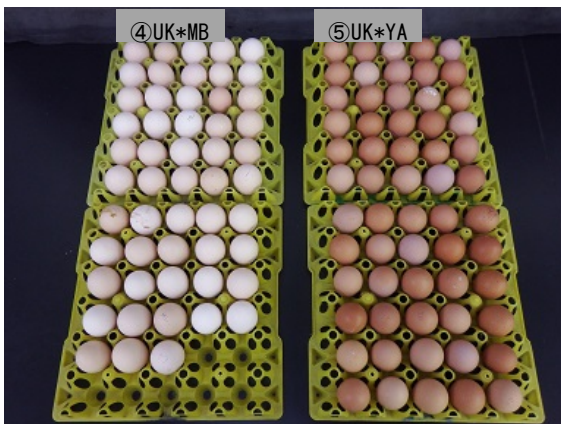
c 卵殻色「b 値」 (※ 黄 + ← 0 → - 青)

色の黄・青を示す b 値 (プラス数値が高いほど黄みが強く、マイナス数値が高いほど青みが強い) は、父系の烏骨鶏 (特徴: 淡褐色卵) の影響を受け、黄色を示すプラス数値となり、♀系のロードアイランドレッドの影響により黄みが濃く 23.8~24.1 程度であった。また、加齢とともに黄みが薄くなる傾向であった。

(表 16) 卵殻色「L 値、a 値、b 値」の状況

区 分	卵殻色(L値)		卵殻色(a値)		卵殻色(b値)	
	35週齢	64週齢	35週齢	64週齢	35週齢	64週齢
平 均	64.5	65.7	15.40	13.13	24.14	23.78
最 大	71.6	74.2	19.87	19.19	31.88	31.24
最 小	55.4	57.5	10.48	6.29	15.09	9.98
標準偏差	3.8	4.3	2.47	2.86	4.37	5.00
数 (個)	60	60	60	60	60	60

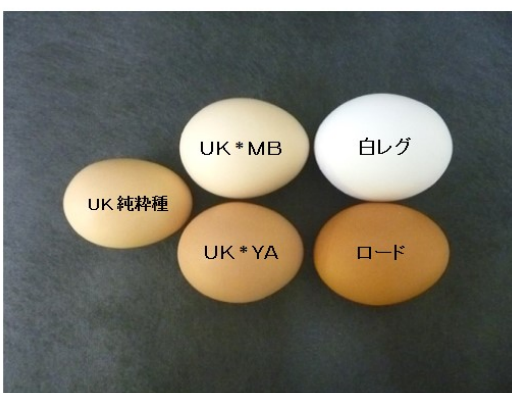
< 参考 > 卵殻色の違い (6 4 週齢時)



(図 13) 烏骨鶏交雑の卵殻色の状況

< 参考 > 卵の特徴 (5 5 週齢時)

< 烏骨鶏交雑 >



UK 純粋種 (43.8g)	④ UK * MB (54.0g)	白レグ (MB) (62.5g)
	⑤ UK * YA (50.6g)	ロード (YA) (58.3g)

(図 14) 烏骨鶏交雑の卵の特徴